

「男の育児もっと「イクメン」しよう」

Men's Childcare: Pro-iku-men (man who enjoys child rearing)!

トレント・ヴォン・リンデンバーグ

Trento Von Lindenberg

82-372: Advanced Japanese II

この作文では、「男の育児もっと「イクメン」しよう」について書きたい。「イクメン」とは、作者の言う通り、子育てに積極的にかかわろうとする父のことだ。男性の育休取得率の割合は 1.23%。そして、日本の男性に「休むと同僚らに迷惑がかかってしまう」どう考え方があから、育休取得希望者の割合は約 3 割だ。

日本では、管理職たちの意識改革は、ワーク・ライフ・バランスだ。アメリカにも、イクメンがいると思う。そして、男性が育休を取得しているけど、夫と妻と一緒に育児をするから、半分の男性が育休を取ってはないと思う。アメリカの職場の管理職たちの意識改革は日本と似ているけど、アメリカの意識改革はもっと健康とフィットネスに焦点を当てていると思う。つまり、意識改革が進んでいるのだと思う。私の意見では、イクメンは新しい男性だけど、いいと思う。

私のお父さんは、多分、「イクメン」だから、イクメンの考えに慣れている。作者の言う通り、職場の意識改革はとてもいいと思う。日本の職場が高いストレスだから、この意識改革は従業員の健康に良いと思う。

結論として、世界の役割はもっと平等になっている、と考える。